

全国で自然保護活動を展開

地球環境を守り、持続可能な社会に貢献できるよう、
水源涵（かん）養をはじめとする自然保護活動を全国各地で展開しています

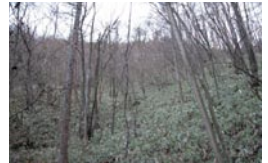
▶ サントリーの森林保全活動



「天然水の森 阿蘇」



「天然水の森 子持山」



「天然水の森 赤城」



「天然水の森 白州」



天王山



西山

各地で森林保全活動を展開

製品づくりに水が欠かせないサントリーにとって、水源涵養活動は社会的責任と認識して、森林保全活動の場をサントリー「天然水の森」と名付け、各地で展開しています。

① 「天然水の森 阿蘇」(熊本県)

2003年に竣工した九州熊本工場の水源地にあたる熊本県南阿蘇外輪山の国有林102haで、国と協働して60年間にわたる水源涵養機能の高い森づくりに取り組んでいます。

なお、2005年に九州熊本工場は第19回「肥後の水資源愛護賞」(主催: (財)肥後の水資源愛護基金、熊本日日新聞社・熊本県)を受賞しました。

② 「天然水の森 白州」(山梨県)

2004年から白州蒸溜所、白州水工場近くの森林約62haを(社)国土緑化推進機構と協働で整備することで合意し、第1期整備に着手しました。

③ 「天然水の森 子持山」(群馬県)

2004年、「法人の森林」制度を利用し、北群馬郡子持山の国有林約5haを国と協働して35年間にわたり水源涵養林として整備しています。また隣接する約4haの森林を「ボランティアの森」として環境教育などで活用しています。

④⑤ 天王山周辺森林整備推進協議会・西山森林整備推進協議会

(天王山: 大阪府・京都府、西山: 京都府)

大阪と京都にまたがる天王山周辺(約250ha)の保全・整備に向けて、2005年2月に行政・学識経験者・所有者・地域住民・ボランティアなどの関係者と「天王山周辺森林整備推進協議会」を設立し、森林整備活動に取り組んでいます。

また、京都府長岡京市西部に位置する西山(約800ha)についても2005年6月に「西山森林整備推進協議会」を設立し、同様の取り組みを行っています。

⑥「天然水の森 塩尻」(長野県)

2005年11月に長野県塩尻市と「森林の里親」契約を締結し、塩尻市が所有する2つの区画(計18ha)の森林整備に取り組んでいます。

⑦「天然水の森 湯の峰」(和歌山県)

2005年11月から和歌山県が実施する「企業の森」事業に参画し、田辺市本宮町内において世界遺産である「熊野古道」沿いの約4haを、地域や行政と協力して森林環境の保全・育成を推進しています。

⑧「天然水の森 赤城」(群馬県)

2005年12月に利根川ビール工場の水源地にあたる赤城山の国有林約10haを「法人の森林」制度を利用して、30年に渡って国と協働して整備していく契約を締結しました。群馬県では2ヶ所目の活動となります。

森や自然の大切さを学ぶ
サントリー「森と水の学校」

2004年3月、子どもたちに水を育む森の大切さを学んでもらう次世代教育サントリー「森と水の学校」を「天然水の森 阿蘇」に開校しました。

「森と水の学校」は、地元の森林インストラクターやネイチャーゲームリーダーにより、運営されています。プログラムの中には九州熊本工場見学もあり、企業の環境保全に対する取り組みについても学んでもいただけます。

2005年度は、合計28回の開催で約



サントリー「森と水の学校」

1,400名の親子にご参加いただきました。また、2006年からは「阿蘇」と「白州」で宿泊型の「森と水の学校」も開始しました。

野鳥保護を通じた自然保護活動
愛鳥キャンペーン

サントリーは1973年に野鳥の保護を通じて自然保護活動に取り組む愛鳥キャンペーンを開始しました。

同年には民間企業として初の「バードサンクチュアリ(野鳥の聖域)」を白州蒸溜所に開園し、探鳥会や巣箱掛けなどの愛鳥活動を行っています。また絶滅の危機にあるアホウドリの復活を支援する募金活動、野鳥保護の啓発リーフレットの制作・販売など、さまざまな活動を行っています。

1990年には公益信託「サントリー世界愛鳥基金」を創設し、国内外の鳥類保護団体の活動に関する助成を行い、大きな成果をあげています。

●「鳥類保護団体への活動助成」部門

国内外の鳥類保護団体の活動に対して、1990年度の第1回から2006年度の第17回までにのべ79団体に2億200万円の助成を行っています。

●「地域愛鳥活動助成」部門<新設>

鳥類保護活動の裾野を広げるために、2006年度より「地域愛鳥活動助成」部門を新設。身近な鳥類保護・観察活動を行う学校のクラブ、ボランティア団体などの地域グループに対し、第1回目の2006年度は、計14件、195万円の助成を行いました。



啓発リーフレット

▶公益信託「サントリー世界愛鳥基金」
「鳥類保護団体への活動助成」部門 2006年度助成先一覧

| 団体名 | 所在地 | 助成の対象となった活動 | 助成金額 |
|------------------------------------|-----|--|-------|
| 財団法人 日本鳥類保護連盟 | 東京都 | 放置テグス(釣り糸)の野生鳥類への被害減少のための活動 | 50万円 |
| トキの野生復帰連絡協議会 | 新潟県 | トキの野生復帰のための協働連携事業 (トキの生息環境創出のための機材整備と各集落への普及啓発) | 200万円 |
| 財団法人 山階鳥類研究所 | 千葉県 | ヤンバルクイナの保護回復に関する研究 | 250万円 |
| 北海道海鳥センター友の会 | 北海道 | ウミガラス繁殖地におけるコロニーの回復と海洋環境保全啓発 | 150万円 |
| NPO法人 ナベヅル環境保護協会 | 山口県 | ツルと人の共生の里づくり | 100万円 |
| NPO法人 どうぶつたちの病院 ヤンバルクイナ保護プロジェクト | 沖縄県 | ヤンバルクイナの絶滅回避のための飼育および野生復帰に関する研究 | 200万円 |

絶滅危惧種の保護

山崎蒸溜所と京都ビール工場では、地元にある「乙訓自然を守る会」から委託を受け、場内で絶滅危惧種に指定されている植物を栽培・育成しています。山崎蒸溜所では「カリガネソウ」(稀少植物)や「サワキキョウ」「フジバカマ」など、京都ビール工場では「カリガネソウ」と「ミズアオイ」を栽培・育成しています。また同工場では、生育している約150の植物を掲載した図鑑「京都ビール工場の花木たち」を作成。自由に閲覧できます。



カリガネソウ